

研究発表会開催通知

(昭和62年5月15日～6月30日)

研究会	日	時	会場	備考
データベース・システム	5月18日(月)	10:00～17:00	日本IBM	前号参照
グラフィクスとCAD	5月18日(月)	13:00～17:00	機械振興会館	同上
情報システム	5月19日(火)	13:30～17:00	慶大	同上
コンピュータビジョン	5月21日(木)	13:00～17:00	静岡大	同上
設計自動化	5月21日(木)	13:30～17:00	機械振興会館	同上
マルチメディア通信と分散処理	5月21日(木)	10:00～17:00	KDD研	同上
自然言語処理	5月22日(金)	10:30～16:00	ATR	同上
プログラミング言語	5月22日(金)	13:00～17:00	機械振興会館	同上
ソフトウェア工学	5月27日(水)	13:30～17:00	同上	同上
オペレーティング・システム	6月12日(金)	13:00～17:00	同上	下記参照
ソフトウェア工学	6月24日(水)	13:30～17:00	同上	同上
情報学基礎	6月25日(木)	13:30～17:00	同上	同上
ソフトウェア基礎論	6月26日(金)	10:00～17:00	同上	同上
記号処理	6月26日(金)	10:00～17:00	神戸大	同上
マイクロコンピュータ	6月30日(火)	13:30～17:00	機械振興会館	同上

◆ 第35回 オペレーティング・システム研究会

(発表件数: 4件)

(主査: 亀田壽夫, 幹事: 紀一誠, 野口健一郎)

日時 昭和62年6月12日(金) 午後1時～5時

会場 機械振興会館 6階 65号室

[東京都港区芝公園 3-5-8, 地下鉄: 日比谷線神谷町, 浅草線大門, 三田線御成門下車, 国電: 浜松町下車, バス: 渋谷ー東京タワー線東京タワー, 渋谷ー東京駅八重洲線虎ノ門下車, Tel. 03 (434) 8211]

議題 (1) OS インタフェース標準化の動向 越田一郎 (東京工科大・情報工学)
[概要] SSI を中心として, OS インタフェース標準化の現状と動向について述べる.

(2) ACOS-4 性能改善エキスパートシステムの開発

麻生川稔, 白水 明, 伊久美功一, 久保秀士 (日電)

[概要] ACOS-4 を使用しているときに発生する性能問題について診断を行い, その診断結果に基づき具体的な改善方法を示すエキスパートシステムを EXCORE を用いて試作したので, その概要を報告する.

- (3) 100Mb/s 光ファイバリングネットワークを用いたプロセッサ間結合方式
木村行男 (NTT 通研)
〔概要〕 100Mb/s の光ファイバリングネットワークを用いてプロセッサ間をチャンネル結合するプロセッサ間結合方式の概要と性能評価結果を述べる。
- (4) ABCL/C⁺ による XINU の実現
土居範久, 児玉靖司 (慶大・情報科学)
〔概要〕 並行オブジェクト指向言語 ABCL/C⁺ を用いて XINU を書き換えることを行った結果について報告する。

◆ 第 54 回 ソフトウェア工学会

(発表件数: 4 件)

(主査: 花田收悦, 幹事: 落水浩一郎, 紫合 治, 春原 猛)

- 日 時 昭和 62 年 6 月 24 日 (水) 午後 1 時半～5 時
- 会 場 機械振興会館 地下 3 階 2 号室 (所在地は前記参照)
- 議 題 (1) COOL による制約指向プログラミング例 中島 震 (日電)
〔概要〕 制約デバイスの組合せに基づく制約プログラミングに関して, COOL での記述例・実現方式などを報告する。
- (2) プログラムテストに用いるパスジェネレータへの一考察
柳沢隆夫 (芝浦工大)
〔概要〕 グラフ理論を応用して最短な未テスト辺を最多に含む S-T パスの導出法を明らかにする。
- (3) 実行時エラーの原因診断エキスパートシステムの試作
野村研仁, 仲田恭典, 井上克郎, 鳥居宏次 (阪大・基礎工)
木村陽一, 米山寛二 (CSK 総研)
〔概要〕 PL/I プログラムの実行時エラー原因の診断に用いる知識の整理と, エラー原因診断システムについて報告する。
- (4) ソフトウェア信頼性モデルに関する一考察
一劣化特性を考慮した冗長のモデル
張 学 健, 菅野文友 (東理大・工)
〔概要〕 ソフトウェアの陳腐化による劣化特性や各モジュールの使用確率を考慮した信頼度モデルについて, 定式化を吟味。

◆ 第 5 回 情報学基礎研究会

(発表件数: 3 件)

(主査: 藤原 譲, 幹事: 有川節夫, 富永英義, 中村史朗)

- 日 時 昭和 62 年 6 月 25 日 (木) 午後 1 時半～5 時
- 会 場 機械振興会館 地下 3 階 1 号室 (所在地は前記参照)
- 議 題 (1) 慣用表現について
田中康仁 (姫路短大・経営情報), 吉田 将 (九工大・情報)
〔概要〕 日本語文に使われる慣用表現の収集と整理について述べる。約 22,000 件の慣用表現の収集結果について報告する。
- (2) 距離に注目した文化伝播モデル 加藤常員 (岡山理大)
〔概要〕 考古学上の文化を捕らえ, その伝播のモデル化を試み, 計算機シミュ

レーションを行った結果を示し、検討を行う。

(3) 解析型問題向き知識獲得支援システムの研究開発動向

國藤 進 (富士通・国際研), 小林重信 (東工大)

藤原良一 (三菱電機・中研), 門前弘邦 (富士通)

長田享一 (石油資源開発), 田中 博 (東大)

岩下安男, 澤本 潤, 滝 寛和, 椿 和弘 (ICOT)

〔概要〕 解析型知識システム向きの知識獲得支援システムの国内外研究開発動向の現状を紹介し、今後の課題と展望を述べる。

◆ 第 21 回 ソフトウェア基礎論研究会

(発表件数: 7 件)

(主査: 廣瀬 健, 幹事: 佐々政孝, 所真理雄, 新田克己)

日 時 昭和 62 年 6 月 26 日 (金) 午前 10 時～午後 5 時

会 場 機械振興会館 地下 3 階 研修 1 号室 (所在地は前記参照)

議 題 (1) ICSE '87 報告 斎藤信男 (慶大・理工)

〔概要〕 本年 4 月に開催されたソフトウェア工学に関する国際会議の報告を行う。

(2) 部品合成によるプログラム自動合成 古宮誠一, 山野和夫 (IPA)

〔概要〕 手続型言語によるプログラムの合成に適した部品実現のモデルとその意味記述について述べる。

(3) μ 式簡約系の試作と並行システム記述への応用

猪股俊光, 橋爪 進, 西村義行 (豊橋技科大)

〔概要〕 メッセージパッシングの形式的体系として提案されている μ 算法の簡約系を試作し、並行システムの記述へ応用した。

(4) Stream-based compilation of Ground I/O Prolog into

committed-Choice languages

玉木久夫 (茨城大)

〔概要〕 入出力モードの完全に定まる Prolog プログラムをストリームを用いて並列論理言語にコンパイルする方法を述べる。

(5) 様相概念を持つプロローグ 岡田光弘 (イリノイ大)

〔概要〕 様相論理推論を直接組み込んだプロローグ型自動証明機構の理論的基礎と知識データ・ベース理論への応用を与える。

(6) 論理型言語を用いたソフトウェア開発 星野 寛 (京大・工)

〔概要〕 論理型言語にプログラム変換手法を適用してファイル入出力処理を含むプログラムを合成したので報告する。

(7) GHC におけるプログラム変換 古川康一, 奥村 晃 (ICOT)

〔概要〕 GHC あるいは、同様の並列論理型言語でのプログラム変換のアルゴリズムを与える。

* 今回の研究会は電子情報通信学会 (ソフトウェアサイエンス研究会), 日本ソフトウェア科学会 (合成・変換研究会) との共催で行われます。上記会告は、4 月 10 日現在の申込みによるもので、プログラムは暫定的なものです。上記期日以降の申込みを含めた最終的なプログラムは電子情報通信学会誌 5 月号に掲載されますのでご了承ください。

◆ 第 43 回 記号処理研究会

(発表件数：7 件)

(主査：和田英一，幹事：井田昌之，小川貴英，元吉文男)

日 時 昭和 62 年 6 月 26 日 (金) 午前 10 時～午後 5 時

会 場 神戸大学 工学部

[神戸市灘区六甲台町，阪急神戸線：六甲下車，徒歩 15 分または阪急六甲線前バス停より，神戸市バス：36 系統鶴甲（つるかふと）団地行「神戸大学本部工学部前」，下車徒歩 3 分，または新幹線新神戸駅よりタクシーで約 10 分。

Tel. 078 (881) 1212]

議 題 10：00～12：00 (3 件)

(1) 論理式の簡単化 元吉文男，佐藤泰介（電総研）

[概要] ユニファィアブルという述語を含んだ論理式の簡単化プログラムを作成したので報告する。

(2) 多項式環上の頭項消去に基づくアルゴリズム 佐々木建昭（理研）

[概要] 多項式環上の頭項消去を定式化し，それを用いて，連立代数方程式の解法はか三つの実用的なアルゴリズムを与える。

(3) マルチプロセッサシステム PARK 上での並列 Prolog 処理系の

実現について

松田秀雄，増尾 剛，秋吉克己，金田悠紀夫

前川禎男（神戸大・工）

[概要] マイクロプロセッサ 68000 で構成されたシステム上で実現した並列 Prolog 処理系の性能評価について述べる。

13：00～17：00 (4 件)

(4) 汎用計算機に適した実時間ゴミ集め 湯浅太一（京大・数理解析）

[概要] 汎用計算機上のリスト処理に適した実時間ゴミ集めの方法を提案し，その有効性，正当性，実現可能性を述べる。

(5) 実時間 GC の実装と評価 小沢年弘，林 耕司，服部 彰（富士通）

[概要] コピー法に基づく実時間 GC の改良方式を提案し，その実装と評価について述べる。

(6) 32 ビットアドレス向き LISP 処理系の実現

橋本ユキ子，内田誠二，小川雄司，高橋哲夫（日電）

[概要] 32 ビットアドレス空間上に高速な LISP 処理系 UtiLisp を実現する一方式について述べる。

(7) A New Implementation Technique for the UtiLisp System

(UtiLisp の新しい実現法)

金子敬一，湯浅 敬（東大・工）

[概要] UtiLisp をより多くの計算機に対応させるために採用した新しい方式とその実現について説明する。

◆ 第 45 回 マイクロコンピュータ研究会

(発表件数：4 件)

(主査：若鳥陸夫，幹事：岡田義邦，森本陽二郎，山田 剛)

日 時 昭和 62 年 6 月 30 日 (火) 午後 1 時半～5 時

会 場 機械振興会館 地下 3 階 2 号室 (所在地は前記参照)

議 題 (1) JSD 向け「図形エディタ」の試作 澤田晟司（日本ユニバック）

〔概要〕 JSD の木構造図を画面上で編集し、構造図から文への変換/逆変換を行うソフトウェアを試作した。

(2) 日本字ワードプロセッサ向け「事務文書体系の応用仕様」

若鳥陸夫 (日本ユニバック)

〔概要〕 日本字ワードプロセッサの文書交換の応用仕様として、「処理可能形式-3」・「書式付形式-2」・「書式付処理可能形式-1」に文字内容体系 CP-3, CF-3, CFP-3 を組み合わせるので、その応用仕様の概要と問題点について述べる。

(3) 標準化オブジェクトモジュールフォーマット SYSROF・MUFOM

の相互変換 山田 剛, 小松克行, 小原啓義 (早大・理工)

〔概要〕 SYSROF, MUFOM の二つの標準化 OM フォーマットの相互変換を行い、両者の記述能力を評価する。

(4) BTRON 仕様による 80286 オペレーティングシステムについて

榎木好明 (松下電器), 坂村 健 (東大・理)

〔概要〕 BTRON 仕様の 80286 用 OS について、ウィンドウなどマンマシン対話系の機能概要と応答性について述べる。

◆オペレーティング・システム研究会

第 36 回 オペレーティング・システム研究会は次のとおり開催する予定です。ふるって発表申し込みください。(発表希望の方は学会事務局へ期日までに、研究会発表申込書(タイトル・50 字程度の概要・連絡先)を送付願います。なお申込書は会誌 3 月号・4 月号緑のページに添付してあります。)

日 時: 昭和 62 年 9 月 11 日 (金) 13:00~12 日 (土) 12:00

会 場: 名古屋工業大学

テ ー マ: OS 全般 (OS と並列処理, 分散処理 OS, 新世代 OS, AI と OS, OS の基礎概念, OS の基礎理論, アーキテクチャ関連など歓迎しますが、これらに限定しません。)

申込み締切: 昭和 62 年 6 月 10 日 (必着)

◆数値解析研究会

第 21 回 研究会を下記のとおり開催いたします。なお、詳細は次号 6 月号に掲載いたします。

日 時: 昭和 62 年 7 月 3 日 (金) 午後 1 時半~5 時

会 場: 機械振興会館 地下 3 階 2 号室

議 題: (1) デバイス・シミュレータの離散化手法に関する考察

和田哲典, 古保里隆 (東芝総研)

(2) デバイス・シミュレーションにおける TF 前処理と ILU 前処理との性能比較

土肥 俊, 原田紀夫 (日電)

(3) デバイス・シミュレーションの数値解析手法

鳥谷部達 (日立)

(4) サブミクロンサイズ n -MOSFET のアバランシェブレイクダウンシミュレーション

小田中紳二, 大江きく代 (松下電器)

(5) デバイス・シミュレータの数値解法

羽根邦夫 (慶大)

第 22 回は 9 月 19 日 (土) 於京大・数理解析研で開催いたします。

◆ソフトウェア工学研究会

第 56 回 研究会を下記のとおり大阪にて開催いたします。発表希望の方は事務局研究会担当まで、研究会発表申込書にてお申し込みください。なお、〆切は 6 月 19 日 (金) とさせていただきます。

日 時 昭和 62 年 9 月 9 日 (水) 10:00~17:00

会 場 大阪科学技術センター

◆マルチメディア通信と分散処理研究会

前号 (4 月号) にて掲載いたしました, 第 33 回 (5 月 21 日 (木) 開催) 研究会会場に誤りがありましたので, 訂正いたします。

会 場 国際電電 (KDD) 研究所 第一会議室

(東京都目黒区中目黒 2-1-23, 国鉄: 恵比寿 (西口) 下車, 地下鉄: 日比谷線恵比寿下車, 山手線の外側三井銀行の左を入り, 徒歩 6 分. Tel. 03 (794) 8440)

◆グラフィクスと CAD 研究会

集中研究集会「ユーザインタフェース」開催と参加募集

グラフィクスと CAD 研究会では, 研究者・技術者相互間における質の高い集中的な討議と情報交換を目的とする活動として, 標記集中研究集会を企画しました。この集会は, 選択されたテーマについて参加者全員が発表と討論とを集中的に行い, そのテーマについての結論あるいは見通しを得るために開くものです。今回はテーマとしてユーザインタフェースを選びました。実施の要領は下記のとおりです。

日 時 昭和 62 年 8 月 20 日 (木) 13 時~21 日 (金) 12 時 (一泊)

会 場 機械振興協会伊豆研修所 (伊東市大室高原)

参加人数 約 25 名

参加申込 6 月 20 日 (土) までに発表要旨 (連名可) を A 4 判用紙 1 枚程度にまとめて学会事務局研究会係あてお送りください。

採否決定 6 月下旬

発表概要 参加していただく方は発表の詳しい内容を 7 月中旬までに提出していただきます。この資料はまとめて, 各参加者に事前に配布する予定です。

研究会資料 参加者提出による資料および当日の討議内容をまとめて, 研究会資料を作成します。

参 加 費 約 9,000 円 (予定)

なお, この集中研究集会に関する問合せは下記までお願いします。

グラフィクスと CAD 研究会

主 査 川合 慧 東京大学理学部情報科学科 (03) 812-2111 内 4118

幹 事 守屋慎次 東京電機大学工学部電気通信工学科 (03) 294-1551 内 2222

委 員 近藤隆志 東芝(株)総合研究所情報通信研究部 (044) 511-2111 内 2789

昭和 62 年度第 28 回 通常総会の開催について

昭和 62 年度通常総会を下記によって開催いたします。総会の案内状は、正会員各位に別途郵送いたしましたので、ぜひご出席ください。なお、ご欠席の場合には、必ず委任状をご返送ください。

記

日 時	昭和 62 年 5 月 20 日 (水) 16:00~17:30
会 場	機械振興会館大ホール (地下 2 階)
総会次第	1. 会長のあいさつ 2. 昭和 61 年度事業報告および決算報告 3. 昭和 62 年度事業計画および予算審議 4. 昭和 61 年度功績賞の発表と表彰 5. 昭和 61 年度論文賞の発表と表彰 6. 新役員の選定 7. その他

なお、総会終了後ささやかな懇親パーティ (無料) を行います。(会場 6 階 66 号室)
会員が一堂に会し、直接にお話しできる得難い機会ですので、皆様のご出席をお待ちいたしております。

第 13 回 IFIP Conference on System Modelling and Optimization 参加者募集について

この会議は工学、自然科学、社会科学を対象とする数学モデルおよび最適化の最近の成果について討議することを目的としています。論文審査の結果、28カ国 163 の論文の採択が決定しております。多くの方のご参加をお願いします。

日 時	1987 年 8 月 31 日 (月)~9 月 4 日 (金)
場 所	中央大学春日校舎 (東京都文京区春日 1-13-27)
参 加 費	24,000 円 (6 月 2 日以後 28,000 円)

会議の案内・登録用紙をご希望の方は下記まで送料 170 円を同封のうえご請求ください。

連 絡 先	〒151 渋谷区千駄ヶ谷 4-30-3 (株)日本科学技術研修所内 IFIP TC 事務局 矢島 敬二 Tel. 03 (479) 1700
-------	---

第 33 回 全国大会学術奨励賞の表彰

第 33 回全国大会学術奨励賞は、去る 3 月 18 日～20 日に日本大学理工学部で開催された第 34 回全国大会の席上、会長から下記 11 君に授与されました。

本賞は昨年 10 月開催の第 33 回全国大会（於広島工業大学）の発表論文を対象に、学術奨励賞委員会（委員長 浦副会長）において表彰規程にもとづき、総発表件数 1,181 件中推薦のあった 66 名の候補者の中から 20 名を選び、さらに慎重審議の結果、11 名が受賞候補者として推薦され、第 307 回理事会（昭和 62 年 2 月）の承認をえて決定されたものです。

Ada タスキングにおけるデッドロックの検出方法 (3D-4)

程 京徳君（正会員）

1952 年生。1982 年中国清華大学計算機科学・技術系卒業。同年同大学助手。1986 年九州大学大学院工学研究科修士課程情報工学専攻修了。現在同大学院博士後期課程情報工学専攻に在学中。牛島和夫教授の指導のもとで Ada プログラミング支援環境の開発に関する研究に従事。日本ソフトウェア科学会会員。

並列オブジェクト指向システム ORAGA

——単一代入則に基づくオブジェクト指向プログラミング—— (5D-2)

河野 真治君（正会員）

昭和 34 年生。昭和 59 年東京工業大学理学部化学科卒業。昭和 61 年東京大学工学系研究科情報工学専門課程修了。現在、同博士課程。並列オブジェクト指向言語および、時間を導入した論理型言語の実装と応用について研究している。

FORTRAN 最適化の強化——多重ループ内の配列多重添字解析方式—— (5E-2)

石田 和久君（正会員）

昭和 35 年生。昭和 57 年佐賀大学理工学部数学科卒業。昭和 59 年大阪大学理学部数学科修士課程修了。現在、日立製作所ソフトウェア工場言語プログラム部にて FORTRAN コンパイラの開発に従事。

ソフトウェア開発における要求分析定義作業の機械化 (3G-9)

金山 正昭君（正会員）

昭和 38 年生。昭和 60 年東海大学理学部情報数理学科卒業。同年三菱電機東部コンピュータシステム(株)入社。同社コントロールシステム第二部・技術第一課に所属。現在に至る。ソフトウェア開発支援環境に関する開発・研究に従事。

情報検索システムのための、単語の意味の空間的表現と学習 (3L-5)

堀 浩一君（正会員）

昭和 31 年生。昭和 54 年東京大学工学部電子工学科卒業。昭和 59 年同大学院博士課程修了。工学博士。同年、国文学研究資料館研究情報部助手。現在、同助教授。人工知能、特に、自然言語理解と

学習に関する研究に従事。電子情報通信学会，日本ソフトウェア科学会，日本認知科学会，人工知能学会，AIUEO 各会員。

多重世界機構による時間の表現と問題解決 (6L-6)

中島 秀之君 (正会員)

昭和 27 年生。昭和 52 年東京大学工学部計数工学科卒業。昭和 53~54 年 MIT 留学。昭和 58 年東京大学大学院情報工学専門課程修了。工学博士。同年，電子技術総合研究所入所，現在に至る。人工知能に興味を持つ。著書「Prolog」, 「知識表現と Prolog/KR」, 日本認知科学会，日本ソフトウェア科学会，ACM，AIUEO 各会員。

知識ベースに基づく連続音声認識システム

——帰納的学習による認識ルールの自動生成—— (6N-3)

竹之内正一郎君 (正会員)

昭和 37 年生。昭和 60 年大阪大学工学部電子工学科卒業。昭和 62 年同大学大学院工学研究科電子工学専攻前期課程修了。同年，(株)野村コンピュータシステム入社，現在に至る。

画像特徴を利用した文書画像の蓄積・検索方式 (6P-7)

山田 敬嗣君 (正会員)

昭和 33 年生。昭和 57 年京都大学工学部情報工学科卒業。昭和 62 年同大学大学院博士後期課程修了。同年，日本電気(株)入社。画像処理，パターン認識の研究に従事。工学博士。

実時間 3 次元動画システムにおける動画記述 (2Q-2)

中島 康彦君 (学生会員)

昭和 38 年生。昭和 61 年京都大学工学部情報工学科卒業。現在，同大学院修士課程に在学中。コンピュータ・グラフィックスに関する研究に従事。電子情報通信学会会員。

分散 OS の機能分割についての一検討 (6V-4)

松下 智君 (学生会員)

昭和 36 年生。昭和 60 年東京大学工学部電子工学科卒業。昭和 62 年同大学大学院工学系研究科電子工学専門課程修士課程終了見込。同年日本電気(株)入社予定。分散オペレーティングシステムに関する研究に従事。データフロー計算機，知識工学，音楽システムに興味を持つ。電子情報通信学会，AIUEO 各会員。

汎用 OS テスト支援システム OSTD (4)——障害シミュレーション方式—— (7V-7)

森山 浩君 (正会員)

昭和 32 年生。昭和 54 年京都大学理学部卒業。昭和 57 年同大学大学院理学研究科修士課程数学専攻修了。同年日立マイクロコンピュータエンジニアリング(株)入社。以来，(株)日立製作所システム開発研究所にてオペレーティング・システムの高信頼化の研究に従事。

「CAD エンジン」講習会開催について

来る6月8,9日開催の「IFIP Workshop on CAD Engines」シンポジウム(3月号本欄参照)出席のため来日の海外著名研究者による標記講習会を下記により開催いたします。多数の方々のご参加をお願いします。なお、参加申込書は前号本欄にあります。

日 時 昭和62年6月10日(水) 9:00~17:00
場 所 機械振興会館大ホール(地下2階)
共 催 IEEE CAS/Computer Society(東京支部)
協 賛 電子情報通信学会
参加費 会員 7,000 円, 学生会員 1,500 円, 非会員 9,000 円
申込締切 昭和62年5月29日(金)(定員150名に達し次第, 締切ります)

~~~~~プログラム~~~~~

1. (9:00~10:00)
“Hardware Accelerator Evolution: an Overview” Tom Blank (Stanford Univ.)
2. (10:00~11:00)
“IBM's Engineering Verification Engine-EVE”
Daniel Beece (IBM, Yorktown Heights)
——休憩(11:00~11:15)——
3. (11:15~12:15)
“Layout Engine Overview and the Manchester Routing Engine”
D. A. Edwards (Univ. Manchester)
——昼食(12:15~13:45)——
4. (13:45~14:45)
“A Scanline Data Structure Processor for VLSI Geometry Checking”
Rob Rutenbar (Carnegie-Mellon Univ.)
——休憩(14:45~15:00)——
5. (15:00~16:00)
“Computer Aided Design and Other Engineering Applications
on the Connection Machine” R. D. Fiebrich (Thinking Machines)
6. (16:00~17:00)
“Programmable Multipurpose CAD Accelerators” R. J. Smith, II (MCC)

「教育におけるコンピュータ利用の新しい方法」

シンポジウム開催について

昨今情報処理技術が社会に普及するにつれて、従来遅れていた学校へのコンピュータ普及率が急速に向上し始めています。同時に教育におけるコンピュータ利用の新しい方法の研究も活発化し、新しい試みが随所に見られるようになりました。

この時期に、この問題にかかわる多くの分野の研究者や利用者が一堂に会して、各々の立場から広く研究成果を発表し、経験を交換し、検討を行うことは重要な意味があると考えます。奮ってご参加下さい。

なお、開催日が6月25日から29日、30日の2日間に変更になりましたのでご留意ください。

日 時 昭和62年6月29日(月)～30日(火) 9:30～17:00

場 所 機械振興会館 研修2号室(地下3階)

参 加 費 正会員 10,000 円、非会員 15,000 円、学生会員 1,500 円
(論文集のみ 3,500 円、送料 400 円)

申込締切 昭和62年6月10日(水)(定員90名になり次第締切らせていただきます。)

~~~~~ プ ロ グ ラ ム ~~~~~

第1日(6月29日(月))

開会の挨拶(9:30～9:40)

有山 正孝(委員長)

招待講演(9:40～10:30)

●人工知能と教育

横井 俊夫(ICOT)

——休 憩(10:30～10:40)——

セッション1(10:40～12:20)

座長 山本 米雄(徳島大)

●Dempster & Shafer の確率論理を用いた ICAI システム 石澤 英美, 徳田 尚之(宇都宮大)

●学習順序を利用した学習者モデルの推定方法と適応指導

竹内 章(九大), 大槻 説乎(九州工大)

●知的 CAI の構築原理と技術的・教育的問題点の考察

岡本 敏雄(東京学芸大)

●物理問題を対象とした環境型教育システム IPPS の開発

中村 祐一, 平島 宗, 中村 孝, 上原 邦明, 豊田 順一(阪 大)

●知的 CAI のためのフレームワークの検討——学生モデル, 帰納推論, 教育戦略——

池田 満, 鈴木 信夫, 溝口理一郎, 山口 高平, 角所 収(阪 大)

——昼 食(12:20～13:30)——

セッション2(13:30～15:10)

座長 倉田 政彦(日 電)

●教育環境への AI 的アプローチ

金西 計英(鳴門教育大), 山本 米雄(徳島大)

●大学における CAI 教材について: CAI コースウェア『高齢化社会を考える』

の共同開発研究を通して

安保 則夫他(関西学院大)

●対話形式で電気回路演習が行える ICAI システム

渡辺 成良, 石井美和子, 水田 哲生, 桑田 喜隆(群馬大)

●計算機言語学習用システムにおける教材の組織化

田村 直樹, 白井 克彦(早 大)

●認知モデルを利用した知的タイピング教育システムのための

打鍵データ収集実験とその評価

河合 和久, 竹田 尚彦, 大岩 元(豊橋技科大)

——休 憩(15:10～15:20)——

セッション3 (15:20~17:00)

座長 魚住 董 (富士通)

- 大学一般教養学生を対象とした情報処理教育への CAI 導入とその問題点
磯本 征雄, 木村 吉男, 小島 誠 (名古屋市立大)
- CAI を利用したシミュレータ/シミュレーション型教育訓練システムの開発
田村 武志 (KDD)
- プロジェクト管理能力の養成を可能にした教育シミュレータ
佐藤 康則 (富士通)
- 統合型 CAI「Multi CAL SYSTEM」の開発
金井 守司, 田内 弘敏 (三菱),
酒井 直助, 太田 剛 (三菱電機東部コンピュータシステム)
- パソコン利用による生徒の思考の活性化——学習内容を構造的・体系的
に理解させる ISM 構造学習法——
斎藤 昇 (新潟県立新発田高校), 佐藤 隆博 (日電)

第2日 (6月30日 (火))

セッション4 (9:30~10:50)

座長 井上 謙蔵 (東理大)

- 多人数授業における図形処理教育支援システム
金井 浩, 中尾 光之, 川添 良幸, 奈良 久 (東北大)
- LAN を採用した情報処理教育用計算機システム
工藤 英男, 東野 輝夫, 奈良 真彦, 荒木 俊郎, 大沢 豊 (阪大),
奥田 公雄, 豊泉 謙一 (日本 IBM)
- 教育用分散型計算機システムの構成
川合 慧 (東大)
- MMI 本位のコンピュータ教室
川合 英俊 (電総研), 高山 文雄 (いわき明星大), 大沢 武志 (FHL)
——休憩 (10:50~11:00)——

セッション5 (11:00~12:20)

座長 御牧 義 (電通大)

- 小規模 LAN による計算機教育システム
石川甲子男, 生田 茂 (都立大)
- ネットワークシステムによる VHD ビデオディスクの制御に関する研究
小川 清, 酒井 行男 (静岡県立東城ヶ崎高校)
- マルチメディア LAN 複合型教育システム
香川 修見 (広島電機大)
- 情報処理教育の LAN を用いた CBE 化
対馬 勝英, 加賀 英徳, 滝川 靖雄 (大阪電通大)
——昼食 (12:20~13:30)——

セッション6 (13:30~14:50)

座長 浦 昭二 (慶大)

- 統合型簡易言語による S-P 表作成と偏移係数の提案
西岡 篤夫 (幾徳工大)
- BASIC プログラムの分析
松原 伸一 (長崎大)
- 算数・数学科教員に対する数値・数式処理支援の試みについて
長嶋 孝好, 有澤 誠 (山梨大)
- 数式処理プログラミングの教育について
一松 信 (京大), 笠嶋 友美 (上智大)
——休憩 (14:50~15:00)——

パネル討論 (15:00~17:00)

司会 大槻 説乎 (九州工大)

- これからの学校用教育ソフトをどう作るか
パネラー 一松 信 (京大), 梶田 敏彦 (旺文社)
佐藤 隆博 (日電), 村田 光正 (コンピュータ教育開発センター)
吉村 啓 (慶応義塾普通部)

「教育におけるコンピュータ利用の新しい方法」シンポジウム

参 加 申 込 書

昭和 62 年 月 日

申込者 氏名 _____ 会員 No. _____

連絡先 (住所, 会社名, 所属) 〒 _____

Tel. _____

標記シンポジウムの参加を下記によって申し込みます.

○参 加 費 (該当するものを○印でかこむ)

正会員, 賛助会員 10,000 円 非会員 15,000 円 学生会員 1,500 円

○論 文 集 の み (3,500 円, 送料 400 円) 冊

○送 金 方 法

_____ 円を _____ 月 _____ 日送金します (金額, 送金月日を記入のうえ該当する送金方法を○印でかこむ.)

a. 現金書留 (送金先 〒106 東京都港区麻布台 2-4-2 保科ビル (社)情報処理学会 シンポジウム係)

b. 銀行振込 (いずれも普通預金口座)

第一勧銀虎ノ門支店 1013945 富士銀行虎ノ門支店 993632

三菱銀行虎ノ門公務部 0000608 三井銀行本店 4298739

住友銀行東京公務部 10899 三和銀行虎ノ門東京公務部 21409

名義人 東京都港区麻布台 2-4-2 社団法人 情報処理学会

請求書類の必要な方はお申出ください.

請求書 _____ (No. _____)
請求先 _____ 通, 見積書 _____ 通, 納品書 _____ 通

注) 申込書は 1 枚 1 人として下さい (この用紙のコピーで可).

プログラミング・シンポジウムについて

第 29 回 プログラミング・シンポジウム開催（予告）

- 日 時** 昭和 63 年 1 月 12 日（火）～14 日（木）
場 所 箱根ホテル小涌園（予定）
問合せ先 情報処理学会 シンポジウム係 Tel. 03 (505) 0505
発表申込 9 月 14 日までに、氏名、所属、連絡先、発表の題目と要旨を A 4 判用紙 1～2 枚に書いて事務局宛お送り下さい。
参加申込 10 月号に参加申込書を、また 11 月号にプログラムをみどりのページで案内予定
注 意 (1) 学術論文発表の場というより、多方面の人々の共通の討論の場であり、意見の交換の場であると考えています。
(2) 情報処理の健全な発展のために、多数の方々が参加され、特に利用者の立場から発言されることを期待します。
(3) 未完成であっても将来に影響を与えるような話題を歓迎します。
(4) 夜にポスタセッションおよびパソコンデモ用などの場所を用意する予定です。

夏のシンポジウム「究極のプログラミング環境」開催

- 日 時** 昭和 62 年 7 月 16 日（木）～18 日（土）（2 泊 3 日）
場 所 CSK 大室山荘（伊豆急・伊豆高原駅下車・バス）
参加費 20,000 円
定 員 55 名（先着順）
参加申込締切 5 月 30 日（土）（詳細は前号本欄参照）

第 20 回 情報科学若手の会シンポジウム開催

- 日 時** 昭和 62 年 7 月 26 日（日）～28 日（火）（2 泊 3 日）
場 所 河口湖グランドホテル（山梨県南都留郡河口湖町船津大池 6713-21）
参加費 10,000 円
定 員 50 名（先着順）
参加申込締切 6 月 30 日（火）（詳細は前号本欄参照）

「画像処理エキスパートシステム」特集号の論文募集

論文誌編集委員会

情報処理学会論文誌編集委員会では、画像処理と知識工学の融合した新しい画像処理技術が急速に発展しようとしていることに鑑み、論文誌にて「画像処理エキスパートシステム」特集号を昭和 63 年 1 月を目標に発行することにいたしました。このテーマに関する論文を会員から募集しますので、下記をご参照のうえ、奮って寄稿されますよう切望いたします。

1. 対象分野

画像処理エキスパートシステムに関する研究

2. 論文の執筆と取扱い

以下の点を除き通常の一般論文と同一としますので、論文誌原稿執筆のしおりをご参照のうえ、執筆・寄稿をお願いいたします。

(1) 特集号にできるだけ多数の論文を掲載するため、論文のページ数は 1 件 8 ページ(刷上り)以内に厳守してください。

(2) 論文には「画像処理エキスパートシステム」特集号論文と朱記すること。なお、特集号としての総ページ数制限を守るため、応募論文の中から通常の一般論文にまわす場合もありますので、あらかじめご了承ください。また、査読後の再提出期間(通常は 90 日)は短縮する場合があります。

3. 論文寄稿締切日 昭和 62 年 5 月 30 日(土) 必着

シンポジウム等の論文募集について

下記のシンポジウム等がそれぞれ論文を募集中です。奮ってご応募ください。なお、詳細は前号本欄を参照ください。

会 議 名	期 日 ・ 場 所	発表申込締切
「マイクロコンピュータの現状と将来」シンポジウム	昭和 62 年 11 月 16 日(月)～17 日(火) 機械振興会館大ホール	5 月 31 日
第 18 回画像工学コンファレンス	昭和 62 年 12 月 9 日(水)～11 日(金) 農協ホール	7 月 1 日
データフローワークショップ	昭和 62 年 10 月 21 日(水)～23 日(金) 関西地区大学セミナーハウス	7 月 6 日
「人工知能システムの枠組み」シンポジウム	昭和 62 年 11 月 19 日(木)～20 日(金) 機械振興会館大ホール	7 月 18 日

「コンピュータ・システム」シンポジウム論文募集

半導体技術の急激な発達による計算機システムの普及によって、その利用形態の多様化が見込まれている。それに伴い、システム技術の発達も多軸化の方向を鮮明にしている。一方で、汎用大型計算機の分野は、益々高性能技術を追求しており、他方では、高機能の使い勝手のよい個人利用のシステムに関する研究開発がある。さらに、分散処理、並列処理や新世代技術の追求が盛んである。

このような時代に鑑み、多軸化した計算機技術のそれぞれの分野での先端の技術、研究に関する論文を募集し、その現状を総括するとともに、将来を展望するひとつの場としたい。

期 日 昭和 62 年 11 月 5 日 (木)～6 日 (金) 9:00～17:00

会 場 機械振興会館大ホール (地下 2 階)

トピックス 以下の分野に関する先端の研究、技術:

汎用計算機, オペレーティング・システム, 性能評価, プログラミング環境, オフィス・システム, パーソナル・システム, 分散システム, 並列処理システム, ネットワーク, 人工知能システム, その他ソフトウェアとハードウェアの接点に関するもの, 等を歓迎しますがそれらに限定しません。

- 実施方法**
- (1) 発表論文については、公募によるものを中心とするが研究連絡委員から推薦されたものを含めることもある。
 - (2) オリジナルな研究成果を示す完結した研究論文ばかりでなく、サーベイや研究プロジェクトのまとめ等を含めた様々な性格の論文も歓迎する。
 - (3) 応募される方は、アブストラクト (A 4 判用紙で、図を含めて 3～5 枚位) のコピー 3 部を 7 月 17 日 (金) までに提出すること。
 - (4) 採否の決定は 9 月 3 日 (木) までに連絡する。
 - (5) 本論文は、原則として和文 (研究会原稿用紙 10 枚以内) とし、10 月 3 日 (土) までに提出すること。

採択論文については Proceedings を発行する。

申 込 先 (社) 情報処理学会 コンピュータ・システム・シンポジウム係
Tel. 03 (505) 0505

「グラフィクスと CAD」シンポジウム論文募集

グラフィクスと CAD の研究開発は近年ますます盛んとなり、基礎、応用の両面において、多くの興味深い話題を提供しています。当学会では、昭和 58 年から計 4 回標記シンポジウムを開催し、多数の研究者、技術者の参加をえて、有意義な成果を得ることができました。本年度も以下のような要領で標記シンポジウムを開催いたします。

グラフィクスと CAD の基礎、応用、ハードウェア、ソフトウェアの全般にわたり、これまでの成果の発表から、新しい手法の提案、今後の展望、先端技術を深く追求するものに至るまで、十分な意見交換や議論の種となるような、先駆的な論文の応募をお願いいたします。

特に今回は、人工知能の手法を利用した論文を歓迎します。

日 時 昭和 62 年 12 月 10 日 (木)～11 日 (金) 9:00～18:00

場 所 機械振興会館大ホール (地下 2 階)

トピックス (主要なテーマは以下のとおりですが、必ずしもこれらに限りません。)

- グラフィクスの基礎／表示技術、リアリズムの追求、グラフィクス入力、データ構造とデータベース、マン・マシン・インタラクション
- グラフィクス・システム／グラフィクス言語とソフトウェア、グラフィクス・デバイスとワークステーション、システムのモデリング、ラスター・グラフィクス、標準化
- グラフィクスの応用／アニメーションとアート、ビジネス・グラフィクス、文書や画像の処理、応用事例
- CAD／設計方法論、形状モデリング、図面の入力と処理、エンジニアリング・データベース、インテリジェント CAD、システム構成法、応用事例

実施方法

- (1) 完成された研究論文のみでなく、問題提起、新しい試み、提案など、いろいろな性格の論文を歓迎する。
- (2) 発表論文件数は 16 件程度とし、1 件当りの発表時間は討論を含めて 30 分程度とする。
- (3) 論文概要 (和文 A 4 判用紙 400 字程度、連絡先等明記のこと) により、採否を決定する。
- (4) 採択されたものは、本論文 (本学会研究会原稿用紙にて、6～12 枚程度、和文) を提出していただきます。
- (5) 採択された論文は、昭和 64 年度の研究賞の対象となります。
- (6) スケジュール
論文概要締切 8 月 15 日 (土)
採択論文決定、通知 9 月上旬
本論文締切 11 月 10 日 (火)
- (7) なお、論文の応募状況により、発表論文や発表時間の調整を行わせていただくことがあります。

申 込 先 情報処理学会 グラフィクスと CAD シンポジウム係

〒106 東京都港区麻布台 2-4-2 保科ビル Tel. 03 (505) 0505

「アドバンストデータベースシステム」

シンポジウム論文募集

データベースシステムは、科学・工学のあらゆる分野において、エンジニアリング・研究開発あるいは意志決定の主要なツールとして、高度な利用が志向されてきている。

本シンポジウムでは、データベースに関連する基礎的な問題から応用事例に至るまでの先鋭的論文を募集し、今後の発展の方向と共通する問題点を討論する場としたい。本年度は、特に「データベースとその境界領域」として、知識工学・ソフト工学・マシン・言語などの関連について議論を深めることとしたい。

日 時 昭和 62 年 12 月 3 日 (木)～4 日 (金)

場 所 機械振興会館大ホール (地下 2 階)

トピックス データベース工学の理論・技術・高度応用などの分野における研究・開発に関するもの

- 理論技法：データモデル，知識ベース，分散データベース，マルチメディアデータベース，データベースマシン，マイコンデータベース，エンドユーザインタフェース，データベース設計，データディクショナリ，情報資源管理など
- 高度応用：OA，CAD，DSS，統計，診断など

実施方法

- (1) 発表論文については、審査制とする。
- (2) 応募論文は、アブストラクトを含めるものとし、邦文 (9,000 字まで) または、英文 (5,000 語まで) とする。ただし、英文論文には、邦文アブストラクトを付け、これは語数には含めないものとする。
- (3) スケジュールは次の通りとする。
 - 論文締切り 8 月 21 日 (金)
 - 採用決定 9 月末
 - 最終論文 11 月 6 日 (金)

応募される方は、コピー 3 部を下記へご送付下さい。

申 込 先 〒106 東京都港区麻布台 2-4-2 保科ビル
(社)情報処理学会 データベースシンポジウム係
Tel. 03 (505) 0505

支 部 だ よ り

昭和 62 年度中部支部総会ならびに講演会について

期 日 昭和 62 年 5 月 15 日 (金) 14 : 00 ~ 16 : 30
会 場 名古屋三の丸会館 (名古屋市中区三の丸 3-5-1 Tel. 052 (201) 3326)
総 会 14 : 00 ~ 14 : 40
講 演 会 15 : 00 ~ 16 : 30
演 題 自動翻訳電話のための基礎研究 博松 明 (A T R)

情報処理学会東北支部大会講演募集

——昭和 62 年度電気関係学会東北支部連合大会——

期 日 昭和 62 年 8 月 27 日 (木), 28 日 (金)
27 日 (木) 一般講演, 技術報告 午後・特別講演 28 日 (金) 一般講演, 技術報告
27, 28 日の両日, 展示会 (計測機器, 電子通信機器, 電力機器ほか)
会 場 秋田大学鉾山学部 (秋田市手形学園町 1-1)
講演申込金 1 件につき 3,000 円 (1 名 2 件まで)
申込・原稿締切日 7 月 3 日必着厳守 (詳細は前号本欄参照)
申込・問合せ先 〒980 仙台市荒巻字青葉 東北大学工学部電気情報系学科内
電気関係学会東北支部連合大会事務局 庄司
Tel. . 022 (222) 1800 (内 4312)
懇 親 会 8 月 27 日 (木) 18 : 00 ~ (場所未定) 会費 3,000 円

学会誌送本先の住所等の変更届について（お願い）

年度の終りから始めにかけては異動期で、会員の住所や所属の変更が殺到いたします。事務処理の誤りを防ぎ能率化するため、勤務先、自宅住所に異動のある方は、必ず所定の「変更連絡届」用紙（前号末尾に添付）にて氏名、会員番号を付し、早速にご連絡ください。なお、異動の受付は毎月 20 日に締切り、翌月号から変更いたします。21 日以降受付分の変更は翌々月号からとなります。

本 会 協 賛 等 の 行 事 案 内*

システム農学会第 4 回春季大会

昭和 62 年 5 月 14 日（木）～15 日（金）

東京・学士会館

Computer Graphics Osaka '87

昭和 62 年 6 月 3 日（水）～6 日（土）

都ホテル大阪・OMM ビル

Computer Graphics Tokyo '87

昭和 62 年 6 月 23 日（火）～26 日（金）

東京流通センター

セミナー「最新のサーボ技術」

昭和 62 年 6 月 22 日（月）～23 日（火）

東京・機械振興会館

7 月 9 日（木）～10 日（金）

大阪・なにわ会館

講習会「固定撮像デバイスとその応用」

昭和 62 年 7 月 22 日（水）～23 日（木）

東京・機械振興会館

第 8 回数理計画シンポジウム

昭和 62 年 11 月 5 日（木）～6 日（金）

（広 島）

第 10 回工業教育研究講演会

昭和 62 年 11 月 13 日（金）～14 日（土）

東京工業大学

* 詳細は本号会議案内欄参照

昭和 年 月 日

研究会発表申込書

太線枠内のみご記入ください。

研究会名	研究会										
発表希望の 研究会開催日	昭和 年 月 日 ()										
タイトル											
発表者名 (略称所属)											
概要 (50 字以内)											
原稿用紙送付先住所	〒				Tel. — (内線)						
氏名											

昭和 年 月 日受付

研究会名 資料 No. 開催日 幹事送付済み その他

		昭和 年 月 日		
--	--	----------	--	--